

歴史を造る (三)

バストス五年史編纂
四月十一日の座談会

本田司會。それでは佐藤さんはあと廻しとして、吉浦さん、一つ入植者時代の思い出話を願います。

吉浦秀次郎。私は昭和四年十一月バストス着で石田さんより一月月がやい。その年六月入植の人が半分かも知れんが私たちがはっいて十一月八日に山に入りました。来る道には可なり認識して来たつもりであつたが大分ちがうてい。海興やアリアンサの例を引いてバストスの農收益が最も最低に見積つても満六車たては一万七千円ルツルになるよ。う年計算に存つてい。果移住組合のパンフレットにです。だが来てその当時の直業者の空気にいひつくりしました。バストスは瘦地だ、慌てて土地をとるなと先に来た人たちが、歳度もさいたものせず、小谷さんといふ同業の人に会ひました。みなりなどはみすほらしくて衣食のようなかつてい。六月前には来た人がさういう風であつたのでがっかりしました。どうも来る早々悪い印象ばかりでした。聖市からクワクワ近は高宮さんが連れて来てくれたクワクワでイセホテルに入て見たら、どうもいひひの家で、カーがな。い。とう。その時は土間に収めました。翌日中国さんのカミニオンでバストス入りしました。暫く吉永ペンソンへ通つてい。内。たん。同業の人とも会つた。が何れも不平だら。皆あわてて入植するなといふわけをした。十二月二十日頃梅岩さんが来て、例のやが。い。梅岩事件があつたので、結局運合會と現地アラ柄との連絡がわるく、とく喰ひちがひがあつたので植民者たち梅岩さんとつちあめたのです。入植もせまくつ。往復してい。内。金は使ひ果してしまふ。何かせぬはいかん。一つチエテへ視察に行こうと。い。かと梁人の間で相談しました。このさいじや子供や家族のもの可愛相だとい。う。の。です。怪と。その相談があつた時。家内はアミ。バ。赤痢をやつて退院二日目でした。医局にいつて又退院した。人だ。内。用。さん。から怒り。た。どうも病人の様子。が。わる。い。からチエテ行き。やめ。とき。な。い。と言ふので、やめてよ。な。つ。た。です。それ。から三日目に家内は七。な。つ。た。の。です。他の人達は皆チエテへ行。き。帰。つ。て。からチエテの事情をさ。ま。した。チエテ健康地とは云へない。井。戸。

家屋賣り度し

場所

ドツキエカシヤク(ジヤネイロホト) 街を南へアテフル街、アベテメ、カンオササメ街、アミミシラ、アレシンドロ街、次のルア、ルイバルボガ、進行、左角を側。

屋敷

二〇米×四〇米

建物

住宅 式棟、木造天井、床張、ガラス窓

買取御希望の御方は島本産婆方迄御問合せ下さい
価格 條件等一切まかせてあります

家主

堂

前

が深くて堀れない。土地も大い。結局バストスがい。と。さ。ま。つ。て。お。ち。つ。く。事。に。な。つ。た。の。で。す。が、畑中さんはチエテ視察にはきけんが悪かつたようだが皆が希望する通りにさせてかへつて結果はよかつたのです。司會。在伯者で一番古い人、入植の一番古い人は誰ですか。畑中。そりや味野さんだらう。いや山中弘君の方が古いかな。板垣君も古い。当時若者が農業に経験ある人を採らした。が福原信義さんの世話で吉永さんもさうだつたが板垣さんも、その世話であつた。板垣さんなど農業指導もやつた。後に監督として働いたが家族の人はあとかう入植した。司會。直来でなく旧移民として入植された吉浦さん。私。は。最初。ア。バ。で。棉。作。を。と。り。五。年。つ。け。ま。し。た。が。だ。ん。く。行。き。詰。つ。て。そ。う。値。も。悪。く。な。り。棉。も。よ。ほ。と。退。化。し。て。来。た。頃。恰。と。移。住。地。の。話。を。き。いた。の。で。入。植。す。る。気。に。な。つ。た。ん。で。す。オ。ラ。リ。ア。な。も。面。白。い。し。ン。が。作。り。も。面。白。い。と。さ。い。て。いた。もの。で。す。から。ま。ア。一。つ。の。希。望。を。も。つ。て。や。つ。て。来。た。わ。け。で。す。ア。バ。レ。ー。の。棉。作。は。古。い。もの。で。す。が。オ。一。回。單。獨。自。由。移。民。と。し。て。大。正。十。三。年。渡。伯。し。バ。ス。ト。ス。に。は。昭。和。四。年。十。月。入。植。で。す。奥。地。で。何。で。も。大。した。植。民。地。が。開。ける。相。十。と。聞。いて。や。つ。て。来。た。程。度。で。す。司會。佐藤福太郎の。ご。経。歴。を。き。か。せ。て。下。さい。佐藤。わ。し。は。ガイ。サ。ー。ラ。で。大。工。は。業。建。築。の。請。負。を。や。つ。て。い。ま。し。た。畑。中。さん。が。棉。買。い。を。や。つ。て。居。ら。れ。た。時。代。で。す。昭。和。二。年。で。し。た。か。な。不。ラ。板。と。は。直。接。何。の。関。係。も。な。か。つ。た。の。で。す。が、当。時。不。景。

気がほつて、延漫し始めの夫処でした。ノロエステでは長崎孫三郎（カランジ）氏や若永（畑中氏の片腕となつてバストを開發した）氏と知合ひであつた。バストスランシリア同の来合自動車をのちに買った金子大二郎氏の世話でバストス入りを決めたんだが、リオドベイスの架橋請負をするのが最初の目的だつた。いよく住手にかゝる道にはイヤランガで三回程ノロエストラから往復したもんで、入札前に畑中さんとも面会したが、日本語学校の出来ることなども私にとつては大きな魅力でした。恰と上の娘が学費に達していったんでね。

味野 蓮子、私の入植動機といつては、何んが、私の同業人は五家族いうもんは、マジナで三年働いたが、どうも毛唐の中にバストスの話を耳にしたので入植の交渉して見たが、在伯者は入れんといふ事であつた。そりやおかしい日本に居る兄や親戚の者は移住組合員になつたのにな、そこで聖市で梅谷さんと交渉した所、そんなら試験的に入れるから一口ツテにニコント宛持いて来い、まあ何の事アない試験されたいやうなもので、一たん帰つてニコントの金を作つて又聖市へ持つていつた。その時畑中さんが山代り賃の支拂ひに困つて金策にあつて居られて、私のもつて行つたニコントがそのまゝ役に立つて居るんで、もつて帰らぬおれしたよ（笑）その時畑中さんが視察に来ては、どうかとす、めて下さつたが、よう行かなんか、すア入植の動機となつたのは、毛チアナの不センカ生活を解放される志があつたが、司会、では視察せよ入植したんで、味野、そうさ、見たとてどうにもなりんしな、毛ジアナからは、同業親戚など直接カスカツタへ入植した。

建物賣却いたします

- 一、アテナルバロス街、銀行の向側、レンガ建
- 一、テイステ、ベンスロ街、木造住宅、六軒
- 一、ルイバルボ、木街、木造住宅
- 一、ヂステ、ノベンブ、木造住宅
- 一、アルミランテ、バルノ、木街、木造住宅

御希望の御方は直接左記へ御通知下さい

前 原 辰 代
Rua Topacio 104
Acurimaçao
São Paulo

司会、時川君、その当時の青年として、入植当時の様子を、川一馬、僕は小学校を出たばかりの時、かじりで、無理やり伯國へつれて来られたよ、なまの世を覗く事に興味を持ち、たが大人の世を覗く事に興味を持ち、何かとさきかじつて知つていきました。事勞所側が何とかして植民者をなだめようとして居ることに、植民者に無法なものが居て色々な要求を出して、事勞所側を困らせること、同じ植民者でも、未だは在伯旧移民を馬鹿にしたよ、所謂新旧移民の感情的衝突といふやうなことが、事勞所側で知つていきました。双方が立つて居る中で畑中さんはよく辛棒してやり通したものと、苦悩の程も判り感心したもので、私の父は両者の中間に立つて善処したと私は思つて居ます。何しろ當時の道來者ときたら畑中さんと佐藤君の使用人地位に心得と、たんですから叔エ。

司會、それについて思ひ出したことは、昨年御座金吾氏が移民の録者をとりに来た時、畑中さんの定むる談話をやつた。和哥山を出發して神戸へ来て自分らの手荷物に札が貼つてある「ブラジル國バストス移住地支配人畑中仙次郎殿行」としてあるの、君々の行くバストスには、君々の支配人が居るのかと且つ驚き且つ憤然としたもので、さういつた先入主が何かとさわりになつたこともあるといえます。君々は日本を立つ時は少くとも自主獨立の夢をもつていたと言へます。

時川、父がいつも吾々子供にいつてきた。また父は植民事業の困難さについて色々話して、くねました。本田君が門請田、小谷君の人達について、彼らの言動についてよく言ひませんでした。司會、今度は農業移民として来植しながら、イの一番に断りを出した本田一男、之れはわしの義父なんじやが、見さん町へ出た理由を一つ。

アマゾン土産（六句）

河野 銀生

スコールの溜り水得て差洗う
大鯨を二つに割りて手滑かむ
鱈を追ふ水中林に稲妻す
火酒呻り水浸くジツタを引り急ぐ
アマゾンに法主 来る噂囁く

原田龜雄氏講演

要旨

二世教育の前にまづ一世の教育

ノ口エステの或る町での話、小学校で日
系の生徒が勝ち組負け組遊びといふのを
やっていた。又その所の産業組合は二派
に分裂して、いかにみ合っていた。家庭では
オヤムヒとリが威張って家の中が面白く
ない。セト、口先では私は愛国の至情に
燃えて居りますなどといふ。四〇万の在
伯邦人が勝った負けたで対立し、家では
主婦けんかが断えずなく、愛国の至情
がさいて呆れる。フテイと言ふなと私
は思ふ。日本の婦人は今や教育に目醒め
男以上に勉強するようになり、昔
軍諸君も母たる人々もよく考へても
らねばならぬ。主人の言ふことであら
は昔は何でもハイと盲従したが今日
ではそれではいかん。ある時は伯母とな
り姉となつて夫の誤りをなだめ支を是正
するのが真の妻の道である。それには自
らの教養を高めねばならぬといふ。昔
皆結束して日本の復興に奔走して居る等
い姿を見ると、真に教育の偉大な力を感
ずるのである。人は先づ己れを知りねば
なり。己れを知つて人を知らねばならぬ
か。力は専主を知り、ご亭力を知らね
ばならぬ。かくの如く小にしては一家
大にしては日本國民の協力によつてのみ
復興の事業がなされるのである。皆これ
教育の力によることである。戦時中大活
躍をした時隊の末の、一に教育の力
があると言はねばならぬ。ドイツの教育
を見るに、小学の一年生から齒車だとか汽
車の絵をかかせて居る。機械技術に対す
る興味を子供の時からしみこませる。日
本でいふママト心なるものも要するに教
育の力によつて養はれたものである。自
在伯四十萬の同胞は、どうであるか、自ら
の生活と子弟の教育に果して努力を注
つて居るといふ得るであらうか。バスト
を除き約二〇ヶ所では私は講演会を開き
四万二千以上の二世の姿を見て、甚だ失
礼なり。塞心に堪えないものがあつた。二
世教育に對し、徒らに手を大にして叫ぶ人
もあるが、此の放置状態はどうか。然らば
二世教育の前に一世教育を施し、だらけた
一世をたまたまなほさねばならぬと思ふの
である。農業の面に於て、然り文化に於て
然り教育の面に於て然り。
日本の百姓は七俵田より粉十二俵半を
取る程に農業技術を昇進し、従来より赤牛
は乳牛に代へ、山羊を養入に飼つて乳を
おろすの爲めに一日一俵の宛飯を減じて一
万八千俵の餘剰米を得る所まで来た。

要するに農家は物を多く取つて富を増
し、商人は物を安く売つて自らも儲け人
から先は儲ける。アラビヤの情態を見れば
伯邦人の有様を見てこれではよいかと云ひ
度い。日本の百姓は土を作ることを以て
天賦と考へ、土壌改良に奮心し、いわゆる農
利農魂一本橋、商人は商利商魂一本橋、
二割の利を一刻の利として二回転させる。
このやり方、この考へ方は、すべての物にあ
てはまるのである。
コロニアの娯樂が、のど自慢や映画たり
てはいかぬ。のど自慢を一概に悪いとは
いわぬが、今のようでは、ひどすぎる。これ
は戦後日本が歩いた疲頓の道。今在伯同
胞は、その第一歩に足を入れていると思ふ。
のど自慢や映画だけを娯樂する農家で
は、駄目である。青年は生産の多きを計つ
て之を研究することを楽しみ、モツサは
經濟面の色々な研究に楽しみを持つこと
が必要ではないか。斯くの如き職場娯樂
に打ち込んで始め、農村は振興するの
である。
在伯同邦の奥さんのやり方はバストス
は除外して一般的に言つてお料理は均一
化し、亜丸化し、良材料をつかつて、養堂の
ないものは、料理の变化も心がけない。奥さ
んをまよとする家庭には、恐らく家庭的な面
白みももうすいであらう。こういうふうな
おとば、一生の不作である。おとばはおや
か、で大きな資本を投じて、小さな儲けしか
してはいない。こういうふうな不作、不作、不作、
一生の不作である。不作と不作、不作、
や到底帰國はされん。先が思ひやられる。
日本の百姓は僅少な金で、以て腕と智能を
働かせ、養堂百%の食事を供して、くれる。
主人は小資本を以て頭を働かせ、大利益を得
ている。要するに、これは頭腦の問題でも
ある。同時に、勤勉の度合ひにもよる。
諸君！先づ食生活の改良、台所を改善
し、いかにせば、生活の向上と娯樂を得るか
を研究せられたい。すくくとのびゆく

蕎麥は短期間にできる
割のよい作物です

よい値段で買入れますから
左記へ御一報下さい

パウルー工商製麵所
長 澤 信 二
パウルー市郊函三八。

Compra-se
Trigo Sarraceno

くわしい事は
週報社で聴取
願ひます

子供の姿、青年男女の姿を見るに、大
 強さを感ず、何をのこさずとも之は大
 きな成功であると思ふが何さま親たる
 者のしりとりが悪い。子の長所、子の香
 をむしり取つてしまふ親が多い。子の
 長所をほめて、之をのほす様にして、之
 がふなりぬ。どうも伯國では充分教育
 がでけませんだといふ人があつた。ア
 ラジルに於ては、あつた近アラジルの教
 育に、日本語をも併せて用いさすなら、
 何で両立せぬことがあるものか。子供
 には明るい希望をもたせ、温かい心を
 与へなければならぬ。要するの二世の
 教育方針は、真理の上に立つたものでな
 く、てはなりぬ。嬰兒は、無心に羽だれを
 見るものだが、之は童心の心、理であつ
 て、そんなものを見るなど打つたと、二乃
 で何にもなるまい。教育とは、学校へや
 ることを以て本とする考へが、まづ、
 まらがつてゐるのである。以下次号

アテマール・テ・バロス
 P.S.P 總裁 末植

パ線巡回のP.S.P 總裁アテマール・
 バロス氏一行は、五月四日オズワ
 ルドゥル市バスリノホリス市を経て午後
 六時過ぎバスオズワリ市に乗り込んだ。
 叔で用意の中央自動車場広場の演
 壇に集まる大衆の顔ぶれ以上は、日系
 乃至日本人である。子供の数の多いの
 も他の市とは比較にならない程で、バス
 スは、かくも子供に到る迄政治に関心を
 もつてゐるのか、又は有る人の末方を
 見んとして集つたのか、アテマールさん
 は、既に相であつた。数名の辯士の中、
 もナルホニ氏は、大熱辯を振つてアテ
 マール氏を指してアラジルの政權を委す
 人ありやと絶叫して拍手を浴びた。七
 時半池田ホテルで歓迎バンケット。席
 上アテマール氏は州統領致に打つ出、つ
 いて末草は大統領道義に臨む旨を
 告ぐ。吾も天下を取らんが先が、利下
 の社會不安を醸成せるインフレを除く
 とんと抱負の一端を被歴した。尚總裁
 は縦横に政治的、外交の妙を發揮して皆
 を喜ばせた。

。新津 牛一丸
 P.S.P 總裁アテマール氏の歓迎のそりに
 ホルトケース言ひぬこれにも握手して
 親しみを見ず副統領 殿
 日伯のその親善を現のあたり
 せれば見すなり副 統領 殿

談 本紙第一頁(ホリチコ)の初行、大統領と
 止 あるは談話につき、リスカいたします

地方復興と緑肥

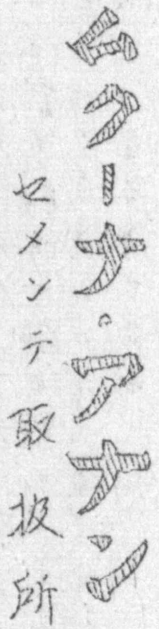
ムクナ・アナン について
 農業の進歩と土壤の保全即ち地方の
 保留と再興を計り作物の施肥として絶
 大の有効、短期間に鋤き込みが出来、し
 かも特徴の「センシツホ」を蔓なし。この緑肥
 「ムクナ・アナン」は農家天恵の肥料として
 推奨されている理想的緑肥であります。
 御希望の方には多少に拘らぬ分譲します
 すでにバウル方面では桑園の肥料として昨
 年より植付けています。又養鶏飼料に
 使用されつゝあります。

農務局カンピナス試験場の発表では、
 緑肥干草一頓中成分窒素(N)10.0(%)、
 カリ(K)10.0(%)、カルシウム(Ca)1.0(%)、
 一〇)十三キロ、燐酸(PO₄)六キログラムであ
 ります。

蒔き付け時期は十月より十一月の初め頃
 最も適しています。もし緑肥の成分充実
 は花の真盛りの時、播種後八十日乃至九
 十日の短い日数であります。施肥用な
 らばルア幅五センチ、株間二〇センチ、一粒
 落し一アルケル当り百三十二キログ、株
 一種用ならばルア幅八十センチ、株間二〇センチ、
 一粒落し八十キログの種子が必要であります

重量一キログの粒数一七七〇粒
 一千粒の重量 五 六〇 グラム
 (注意) 蟻の大好物で、最後迄被害を受け
 ますから御注意下さい

生産者 古川 誠 三



植木商店

養蚕家は桑園の緑肥に！
 養鶏家はニワトリの飼料に！